



2024-25年度RI会長

ステファニーA.アーチック

第2640地区ガバナー：野村 壮吾

田辺東ロータリークラブ 創立：昭和49年5月15日

会長：渡口 眞二 幹事：森本 修至



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com 例会：水曜日12:30～

## ○会長報告

会長 渡口 眞二



- 本日のお客様は、田辺市長 真砂充敏（まなご みつとし）様です。
- 9月23日(月)田辺はまゆうRC・田辺東RC学童軟式野球大会、開会式が開催されクラブ奉仕C委員長の佐田君出席していただきました。ご苦労様でした。
- 9月29日(日)田辺はまゆうRC・田辺東RC学童軟式野球大会、準決勝・決勝・閉会式が行われ、私会長渡口が出席いたしました。
- 10月5日(土)に弁慶まつり、花火を見る会を開催致しますのでご参加予定の皆様18:30～テンコーライフ様駐車場にお集まりください。
- 本日例会後、定例理事会を開催致しますので、理事・役員さんはご出席よろしくお祈いします。
- 9月18日定例理事会の報告を致します。
- ◎9/14米山委員長会議をMUにすることについて…承認。

- ◎第4回学童野球大会（田辺はまゆうRCとの合同）開会式について…承認  
開会式挨拶：はまゆう中峰会長  
9/23(月・祝)クラブ奉仕C委員長 佐田君出席  
(雨天時は、場所：大屋体育館)  
閉会式：渡口会長出席予定（挨拶）日程変更時は森本幹事
- ◎弁慶まつり花火を見る会、テンコーライフ様駐車場にて開催、クラブ奉仕B委員会準備中…承認。
- ◎クラブ奉仕A委員会10月のFM TANABE ラジオ出演について…10/28(月)森本幹事、泉委員長
- ◎事務局PCウイルスバスター更新について…承認。  
(木村電気様へ)
- ◎新庄公園のクマノザクラの今後について…現場視察 済、山本委員長へ。
- ◎田辺市扇ヶ浜「SHIOGORI」モニュメントについて…寄付金承認。
- ◎10/2例会時のお弁当（宝来寿司様）について…価格承認。  
■本日のお弁当は「宝来寿司」さんです。ご賞味ください。

## ○幹事報告

幹事 森本 修至



- 例会日時変更
- ◎田辺RC 10月17日(木)、11月21日(木)→休会
- ◎田辺はまゆうRC 10月29日(火)→休会
- ◎白浜RC 10月4日(金)、11日(金)→休会
- ◎和歌山東南RC 10月16日(水)→休会
- ◎和歌山北RC 10月14日(月・祝)→休会  
10月28日(月)→変更 10月26日(土)  
「秋の日帰り親睦旅行」奈良方面
- ◎和歌山南RC  
10月25日(金)→変更 10月24日(木) 18:30～  
和歌山城南RCとの合同夜間例会  
ダイワロイネットホテル和歌山
- ◎有田RC 10月17日(木) → 休会  
10月31日(木)→変更 夜間例会18:30～「橋家」
- ◎高野山RC 10月25日(金)→休会
- メイクアップ
- 9月23日(月)「田辺はまゆうRC・田辺東RC学童軟式野球大会開会式」佐田一三君
- 9月29日(日)「田辺はまゆうRC・田辺東RC学童軟式野球大会閉会式」渡口眞二君
- 回覧
- ◎野村ガバナー事務所「地区大会パンフレット」  
「地区大会選挙人会議ご案内」
- ◎週報「那智勝浦RC」「田辺はまゆうRC」「串本RC」「橋本RC」
- ◎弁慶まつり実行委員会「御礼、第36回弁慶まつりパンフレット」
- ◎令和6年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動街頭啓発の実施について」
- ◎ロータリー米山記念奨学会より  
「豆辞典」「クラブ米山記念奨学委員長の手引き」  
「寄付マニュアル」「2023年度事業報告書」  
「2023年度決算報告書」「追加資料申込書」

## ○幹事報告続き

■回覧◎「英語版ロータリアン10月号」◎田辺・西牟婁学童野球協議会より「大会のお礼並びに結果報告」

■連絡◎10月のロータリーレートは 1ドル=142円です。

◎11月16日(土)17日(日)とスターゲイトホテル関空エアポートに於きまして地区大会が開催されます。

申し込み締め切りが10月8日(火)バスの手配もごさいますのでお早目のご出欠確認をお願いします。

◎ロータリーの友10月号、米山月間資料「豆辞典」を各自のトレーに入れてあります。よろしくお願いいたします。

## ○お客様

田辺市長

真砂 充敏 様

(まなご みつとし)



## ○出席報告

会員数	34名	義務免除	2名
本日の欠席者	7名	本日の出席率	78.13%

## ○本日の唱歌

「君が代」「ふるさと」

唱歌 谷中 順次郎君



## ○皆出席記念贈呈

勤続3年

真下 京君



## ○にこにこ報告 (敬称略)

～田辺市長 真砂 充敏 様をお迎えして～

愛須勝章、上原俊宏、岡本博、大野翼、片井貢、畔田実、佐田一三、武田静也、竹中悟、竹村英一、谷中順次郎、中嶋伸和、西谷貞彦、野村憲司、橋本隆、平林圭介、前田吉彦、真下京、森本修至、山本亘、渡口真二

◇真砂市長さんようこそ！

本日の卓話楽しみにしております。 泉房次郎

◇今日のニュースで新幹線が通って60年…。

思い出すなあ…20歳の頃を！富士山が素晴らしかったな！今まで7億人を運んだという。 吉田和枝

本人誕生日 吉田和枝

奥様誕生日 愛須勝章

結婚記念日 愛須勝章 武田静也 畑地誠

◇いつもは感謝の気持ちは伝えられないけど、

1年分まとめてありがとう！と言える日が

結婚記念日ですね。これからもヨロシク！ 橋本隆

◇結婚記念日のお花頂きまして、ありがとうございます。2006年に結婚して早18年ですが、これからも仲良く楽しんで行きましょう。 樫木正和

◇お花いただきます。 坂本正人

☆本日出席の皆さんより

沢山のニコニコありがとうございました。



田辺はまゆうRC・田辺東RC  
学童軟式野球大会

9月23日(月・祝)  
開会式

9月29日(日)閉会式 渡口会長挨拶



クラブ奉仕C委員長  
佐田君出席



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

## ○本日のプログラム

田辺市長

真砂 充敏 様

「新庁舎移転と

これからのまちづくり」

についてご講話いただきました。



本日はお招きいただきありがとうございます。限られた時間ですが、皆さんに少しでも今の市政の状況をお伝えできたらと思っています。

はじめに、田辺市役所新庁舎のお話しをさせていただきます。5月7日ゴールデンウィーク明けに引っ越しが完了し、新庁舎での業務スタートからもうすぐ5ヶ月が経過しようとしています。今のところトラブルもなく順調に業務を行っております。これまでの皆さんのこの庁舎整備に関するご協力に本当に感謝を申し上げます。

加えて、田辺東ロータリークラブの皆さんにおかれましては新庁舎開庁に際しまして市民憲章碑という、とても立派な品をご寄附いただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

振り返るとちょうど8年前の今頃に、私はあの場所に庁舎を移したいということを発表しました。そういう意味では公表から約8年かけてやっと完成と、こういうことです。市役所庁舎は、様々な理由から整備をどうするかというのが大きな問題でしたが場所を変える、移転をするということについては色々な意見が出ました。そういう意味で、私も最初から特にまちなかを中心に、なぜ、高台移転をするかという理由をかなり丁寧に細かく説明してきたのですが、それでもなかなかご理解をいただくのが難しいと思った点はやはり財源の問題です。大きな費用をかけてそこまでする必要があるかどうかという問題がありました。

この庁舎整備について簡単に申し上げますと、一番は災害時の対応拠点としての機能です。大規模災害が発生した時にきちんとした対応ができる拠点ということを庁舎に位置付けておくことが重要でありました。今、全国各地で風水害も含めた地震や津波、色々な災害が起こり、当地域では南海トラフという大規模地震に伴う大津波が懸念されています。そうした時に、旧庁舎の場所ですべての対応が可能かどうか。災害をどのように想定するかによって対応は変わってきますが少なくとも、旧庁舎は手狭でまた、市街地は南海トラフ地震により相当損壊していることが想定されるなかで十分な対応を図ることができないのではないかとというのが1点です。

もう1つは、これまで市の業務は市民総合センターと本庁舎に分かれて行ってきたのですが、市民の皆さんの利便性向上のことを考え、やはりワンストップですべて完結するというのは当然大事なことで、市民の皆さんの

利便性が格段に向上するというのももちろんあります。

そういう意味において、今の新庁舎は1階と2階の柱の間に免振装置があり、地面が揺れても2階から上は揺れないとまでは言いませんが、揺れが少なくなりしかも普段の業務スペースが、有事の際にはそれぞれのフロアが災害対応フロアに変わることになります。1階と2階フロアは一時避難スペースとなり、市民の皆さんを最大2,300人程一時的に受入れることができます。有事の際、例えば一時避難に困った場合、まずは市役所に向かって避難をしていただけたらと思っています。

有事の際にフロアごとに災害対応フロアに変わり対応するというこの機能は、全国的にもまだ珍しいようで、これからの庁舎はこうであろうとされています。ただ、ハード面は出来上がったが、対応する職員も含め我々災害対策本部、いわゆるソフト面が機能するかどうかは、これはまた別の問題ですので引っ越しをしてまだ5ヶ月ですが、もうすでに3回4回と災害対策本部の運営訓練をやっています。

そして特に注目すべきは、5階に「オペレーションルーム」を設置し、日頃は会議や記者会見など色々なことに使っていますが、いざというときには、災害が起こった状況についての情報をそこにすべて集約することができるシステムになっております。災害時に一番大事なのは「何が起きているのか？」それがわからないことにはどう対処していくべきかわからないので、そういう意味ではこのオペレーションルームが1つのポイントになります。情報収集の仕方は色々あり、市民の皆さんから職員から、衛星・ヘリコプターそれからドローンなど、色々な情報を複層的にここに集約します。そして、それを職員間で共有するわけです。一つの部署だけが情報共有しても、それは頑張っても2日3日しか持たない。ローテーションで人が交代していく仕組みが重要ですので、常に職員間で最新情報を共有します。

それから、もう1つはその情報を「市民の皆さんに伝える」これも大事なことで「今こういう状態だがもう少し待ってください」と「今こういうことで対応していますから」というような情報も含めて伝えるということが大事だと思っています。さらに市役所だけで動くのではなくて、もちろん県、国、それから自衛隊、消防、警察といったあらゆる機関とその情報を共有する拠点がやっ

ただ、こうした非常災害というのは、何年に1回、

## ○本日のプログラム続き

もっと言えば1000年に1回規模の話ですので、普段は皆さんに利用いただく建物ということになります。そういう意味で私は「用事が無くても市役所に来てちょっと寄って休んでください」と言っているのですが、どうしても市役所は敷居が高い、普段そんなに市役所へ行くようなことはないというお声もあります。でも、皆さん2階から6階までのすべてのフロアに「市民交流スペース」があります。お子様を連れていらっしゃるってキッズスペースで遊んでいただいてもいいですし、3階にはカフェもありますので是非訪れていただけたらと思っています。

3階のカフェは、市内の障害者施設に通所されている皆さんが、日替わりで運営してくれていますので、是非皆さんもコーヒー1杯でも飲みに来ていただけたらなと思っています。はまゆう作業所さんや、ふたば作業所さんが運営されているのですが、私は「田辺市役所のカフェエリアには“スタバ”は無いけれど“ふたば”がある、是非とも来て欲しい」と言っています。

ひとつ、我々が想定外のことがありました。それは何かと言いましたら、高校生や中学生が来てくれることです。自主勉強をするためですが、なぜ支持されるか。1つはWi-Fiがある、やはり学生にはWi-Fiが繋がるかどうか大事な要素です。そして、エアコンが効いている。新しいうえに見晴らしが良い。そして静かな環境。6階は議場フロアですが議会は毎日やっていますので、6階は本当に静かです。真面目に勉強やっているのかなど、僕はたまに声を掛けたりしているのですが、これは本当に想定外のことでした。でも、高校生がこうして市役所に立ち寄ってもらえるということは、私はとてもいいことだと思っています。少し行政に興味を持ってもらったり、できれば、将来はここで働きたいなと思ってもらえたら素敵じゃないかと思えます。

行政の仕事というのは、1つ片づく1つ解決すると次にまた課題が出てくるのですが、いま大きい課題の一つに旧庁舎の跡地をどうするか、それから市民総合センターをどうするかということがあります。このテーマは、新庁舎ができあがる前からわかっていたことですので、もう3年ぐらい前からこの計画については色々と議論してきました。私はこの際に、旧の市役所の跡地だけをどうするかというような小さな言い方はおかしいですが、狭い視野で考えるのではなくて、この際田辺湾全体をもう一回見直そうではないかと言ってきました。

「田辺ONE未来デザイン」と言う名前をつけ、



もう3、4年近く議論しているのですが、今までを振り返りますと行政が悪いというのではなく、まちづくり特に道路整備はどうしても市街地から郊外へ広げてきた歴史があります。旧国道から郊外にバイパスを造り、高速だって全然間違っていないんですが、車のある社会が基本となるなかで中心市街地には、だんだんと住む人が少なくなっています。そうした中でもう一度、市街地・田辺湾岸エリアの魅力をみんなで高め合い中心市街地に元気を取り戻そうということを考えていまして、特に道路整備では文里湾横断道路はもう着工しています。工事が目に見えていないと言われるかも知れませんが、今は用地交渉であったり用地買収であったりというところで設計もほぼ出来上がってきています。

田辺湾エリアには魅力がたくさんあり、鳥の巣もそうですし、扇ヶ浜、神島、天神崎もあります。また、歴史や文化、自然、シオゴリキャンプ、それから水産資源もあります。今、漁業は厳しい部分がありますが、そういう意味でもこのエリアの魅力を発信して外からの人の流入などを通して賑わいの創出につなげる一助にしたいと思っています。そうした視点の中で、市役所の跡地をどうするかということを考えていくことになります。

扇ヶ浜エリアにも力を入れており、夏場の海水浴だけではなく、砂浜を利用したビーチスポーツを推進しており今年も「ビーチライフin田辺」というイベントを開催しました。親子はだし運動会、ビーチサンダル飛ばし大会、もちろんビーチバレーもそうですし、ビーチアルティメットという大会も開催しています。ビーチアルティメットは、フライングディスクを投げて陣地を取り合う競技ですが、本市ではアジアオセアニア大会を誘致して開催しました。白良浜と扇ヶ浜の2地域で開催し、世界から選手が参加する大会でしたが、選手からは白良浜よりも扇ヶ浜の砂浜が良いという声も寄せられました。もっとビーチを活かすことで、中心市街地全体を何とかしたいと思っています。

先ほど、シオゴリキャンプの話が出ましたが、昔、熊野に向かう人々が、この地「口熊野田辺の海辺」で海水を使って身を清めたというようなことからすれば、折角あれほどの外国人の皆さんが来ていただいているのに、すぐに滝尻に移動してスタートというのではちょっと寂しいと思います。このまちなかに前泊をしてもらって、味光路なども堪能していただき、田辺から歩いてもらうということにも今取り組んでいます。コロナ禍から明けて外国人訪問者の数、訪れ方が凄いいことになっています。コロナ前以上です。例えば、近露という小さな集落ですがそこはもともと民宿が4軒だったのですが、それが今や40軒の民宿・ゲストハウスができています。しかもできた途端、外国人のお客さんが来年の春まで予約が詰まっているというような、要は泊まりたい人を受け容れきれないくらい来ていただいているというようなことで、熊野古道を中心として経済が回っています。コロナ禍の時のように、外国人が来なくなったらダメになるということでは困りますので、色んな人に来てもらえるよう今色々仕込んでいます。

## ○本日のプログラム続き

それから市民総合センターです。ここをどうするかということも大きなテーマで市民の皆さんからアンケートをとったところ、特に子どもを育てている少し若いご夫婦の声として、晴れた日は新庄総合公園や外で遊べるけれど雨が降ったら子どもと一緒にいける場所がないので、市民総合センターにそういう子育て支援の空間を設けてほしいというご意見がありました。それができたら、おじいちゃんおばあちゃんが一緒になってゆっくりできるような、そういう交流スペースを市民総合センターに欲しいというお声もいただいています。

ただですね、市民総合センターから行政機関が引っ越しましたが、例えば休日急患診療所とか市民活動センターや、生涯学習センターも残っていますし社会福祉協議会も残っていますから、これらの機関がその場所で活動しながら市民の皆さんがもっと訪れるような建物にしようと考えています。しかし、これにもすごい費用がかかりますので、今後この費用捻出をどうするかという問題は残っています。

もう1つ、紀南文化会館が築40年で老朽化してきています。照明、音響、客席なども、当時のものなので、傷みもでてきて少し手狭ということもあります。そして一番はバリアフリー問題です。今は、ユニバーサルデザインが叫ばれており、すべての皆さんが簡単に訪れてもらえるようなユニバーサルな施設にしようと思うと、大規模改修をする必要があります。こちらは、来年度あたりに詳細設計をして、さらに1年かけて大規模改修しようと思っています。その時に、扇ヶ浜側にある駐車場機能を今の旧庁舎部分に立体駐車場を造って、紀南文化会館に水平移動できるようにすれば車椅子の方もそのまま訪れていただいて、雨に濡れずに来館できるようなのではないかと考えています。

ただしかし、これも確定しているかどうかというと、まだまだこの場所は色んな使い方が考えられ、扇ヶ浜、扇ヶ浜駐車場をどう使うか、そして旧庁舎をどうするかというのは、これからのテーマだと思っています。

いくつか申し上げましたが、これ以外のことも色々あり、そういう案件・ポイントを機会にして、特にこの中心市街地をもっと元気にしていこうと模索しながら、具体化しようとしています。ただ、結構大きなこと言うなと思われるかわかりませんが、決してアイデアや構想だけでは済まされないという大きな問題・背景があります。それは、人口減少という問題です。例えば、担い手の問題です。農林水産業は特にそうです。それから建設現場でも、また、色々な会社でも、もう次の新しい働き手がないということが、これからどんどん人口が減っていくと非常に深刻なことになっていくのは当然のことです。

市では「田辺市人口ビジョン」というものを策定して、合併の時点からの人口を推計しながら一定の人口減少は認めるが、減少を緩やかにしていこうという取り組みをずっとやってきましたが、なかなか難しくそう簡単にはいきません。

この前、皆さんもご承知の通り「消滅可能性自治体」というものが発表されました。全国で744の自治体が、2050年以降あたりで消滅するかもしれないという、これは増田レポートといいますが、これは10年前に出ていて今回は最新のものが発表されたのですが、今回この中に実は田辺市も入っています。入っていると力張ってということでも何でもないので、悲しいかな入ってしまっています。

これはですね、計算根拠として出産年齢となる女性層が次の世代に移ったときに、50%以上が減った場合は、消滅に近くなっていくというような基準があるのです。田辺市が53%ぐらいのぎりぎり、そちらに入っているのです。でも、私はよく考えたら、消滅自治体と聞くと自治体の問題のように言われますが、そんなことはないと思っています。

1700余りある自治体の中で744自治体ということは、4割の自治体が消滅するということになり、もし、そうしたら、これは自治体だけの問題ではないのです。国が消滅するという話です。だからこれは消滅自治体ではなくて消滅日本という考え方で、国策としてどういう国の形を作るかということをやってもらわないと困ります。子どもが少ないからといって、保育を無償にする自治体や、医療費が高校生まで無料にするとか、今はそれぞれの自治体が頑張っているわけです。それで、自治体同士で奪い合っているような構図になってしまっています。皆さん、根本はそういう問題ではないと思いませんか。

去年生まれた赤ちゃんは73万人です。ちなみに昭和24年生まれの方が226万人いらっしゃいます。だから、いかに73という数字が少ないか。今、大学2年生ぐらいの子たちが大体100万人ですから、あと18年後には、30万人ぐらい大学へ入る人数が減ることになります。これは、来年度絶対増えません。今年の出生数ですが、実はこの半年で、いよいよ35万という数字が出ていますので、これはもしかしたら今年70万人を切る可能性があります。こうした状況で、例えばどこかの町から誰かが引っ越してきたとか、どこかの町に子どもを連れて誰かが出て行ったとか、それはですね、73万人の取り合いになります。それはなんとというか、ひとつの数字を自治体間で取り合って、増えて喜んでも一方でどこかの自治体は減っているだけの話なので、そんなことをこれからも繰り返すのかという根本問題もありますが、かといって田辺市は関与しないと言っているんじゃないんです。

田辺市も、いよいよ給食の無償化を実施します。でも、給食の無償化が、子どもが増える直接要因になるかどうかということも含めて、大変難しい問題だというふうに考えています。少子化問題というのは、すぐに解決できるという問題ではなくて、大変悩ましいということでもあります。その辺も含めて我々は努力していきたいと思っています。人口減少問題に、もう少し、抵抗できる具体策を打ち出していく必要があるというふう強く思っています。ただ、これはもう本当に難しいです。

## ○本日のプログラム続き

難しいですが、何かを模索しながら具体策を皆さんに示していくということをしなないとはいけません。今、実はその方策の一つとして「たなべ未来創造塾」という事業を行っていて、次の世代の若者たちに輝いていただいて、少しでも地域で頑張ってもらおうと考えています。今年で9年やってきています。これが全国ですごく高い評価を受けていまして、今は熊本大学まで飛び火して、昨年からは熊本大学を中心とした周辺5つの自治体が「くまもと未来創造塾」「あそ未来創造塾」「やつしろ未来創造塾」や未来創造塾という名前と一緒にスタートしました。それから石川県南砺市でも、未来創造塾と一緒にやりたいと言って連携するなど評判はいいですが、ただ、それをやっても人口の減少に完全にコミットできていません。

この状況をどう捉えているかとなると、1つはですね、これもなかなか難しいですが、高等教育機関がないという環境にあることも大きな要因だと考えます。18歳になると同時に、この年齢人口がガクッと減ってしまいます。22歳になって戻ってくる子もいるのですが戻りは相当少ない。

やはり教育のあり方というのを田辺市として再考できないか。例えば今、色々な意味で、この学ぶ主体とそれから大学の役割もものすごく変わってきていて、探求型学習とか教育の質が変わってきているんですね。そういうことで、探求型学習のフィールドとして場を提供するというようなことは可能です。そういう大学生を呼び込むということは、まだ可能性は残っているように思います。まちなかには空き家もありますので、それも絡めてですね、何とか抵抗したいなど、このように思っています。

難しい課題は山ほどありますが、今回の市役所庁舎の移転を一つのきっかけにして、もう一度今ある元気を損なわないように努力し続けることが、田辺市の今後のテーマかなと思っています。バラ色ではありません、むしろ厳しい話ですけども。

市役所だけでこれが解決する、解決できるという問題でもありませんので、こうしてできる限り一生懸命説明しながら皆さんと共有して、そして皆さん方のお力添えを賜りながら取り組んでまいりたいと思いますので、今後とも引き続きよろしくごお願い申し上げます。

与えられた時間が来ましたので、これで私からの行政の説明を終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。



■3階正面玄関



■北側(夜)

「つながり」生まれるユニバーサルカフェ

地域の4つの障害者支援事業所（ふたば福祉会・やおき福祉会・はまゆう作業所・南紀のぞみ会）と社会福祉協議会が手を組んで、新しい庁舎の中でカフェをスタートさせます。

月曜日から金曜日の5日間をそれぞれの特色を活かし、各事業所が日替わりで運営します。地域の障害者のみなさんがいざいざと働き、来庁者の方々と楽しく交流できる場として取り組んでいきます。

田辺市新庁舎3階にオープン!

**Café Camino** (カフェ・カミーノ)



■市民展望テラス(山側)



■議場



■市民展望テラス(海側)



## ○今日のお弁当

本日のお弁当は「宝来寿司」さんのお弁当でした。美味しくいただきました。



## ○次回プログラム

- ◎10月9日(水) 休会
- ◎10月16日(水) 「50周年記念誌フォーラム」 上原 俊宏君
- ◎10月23日、30日(水) 休会
- ◎11月6日(水) 外卓予定
- ◎11月13日(水) 移動例会「田辺ライオンズ様合同例会」

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか



# 10月5日(土)花火を見る会~テンコーライフ様にて~



ご家族の皆さんも楽しそう！！

鮎に焼き鳥も！！ 舌鼓



木枯らし紋次郎 by 佐田君



特等席で 花火を観覧



ご参加いただいた皆さんありがとうございました。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか